



- 研究テーマ 授業における教師のゼスチャーの効果について
- 所属職名氏名 英語教育講座 教授 佐藤臨太郎
- 研究シーズ概要

- 現在、高校での英語の授業は主に英語で行うことになっており、この「主に英語での授業」は中学でも実施される見込みです。第2言語習得(SLA)の観点からも、潤沢な質の高いインプットを与えることは、英語習得のための前提条件とされています。生徒の現在の英語能力より若干上のレベルではあるが理解可能である“ $i + 1$ ”のインプット(Krashen, 1982)を与えることが重要なのですが、本研究において、英語で授業を行っている中高の教員が、ゼスチャーを有効活用していることが、明らかになりました。ゼスチャーの目的としては、1)正確な意味や情報を伝えるため。2)抽象度の高い事柄の理解を促すため。3)「英語での授業」での生徒の不安を軽減し、より協力的・奨励的な雰囲気を作り出すため。等があげられます。今後、さらにゼスチャーの効用について深く研究していきます。